令和６年度　館山市立館山中学校　校内研修

１　研究主題

学力向上を目指した授業づくり ～館山中スタンダードの構築を目指して～

２　研究主題の理由

本校の最重要課題として、学力向上が挙げられる。観点別に分析すると、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」いずれも県平均を下回っている。そのため、日々の授業や単元を通して、いずれもバランスよく指導していくことが求められる。

特に「書くこと」に関しては、筋道を立てて考えたり、自分の言葉で表現したりすることが課題である。全国学力・学習状況調査においては、記述式の正答率が大きく低下する。さらに傾向として、短答式より記述式がより低下している。このことは、学力向上を図る上で一番に取り組むべき課題であると考える。そこで、授業における「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」を振り返ると、後半に進むにつれ、十分に活動時間を設けることが難しくなる傾向がある。そのため、生徒は自分の考えを書く時間が不足し、選択式よりも短答式、記述式が全国に比べ大きく劣ると考えられる。

また、教員不足が叫ばれる中、本校は若手職員が特に多いため経験年数に関係なく、安心して授業を進められるようにしたい。そこで、館山中の授業スタイル（館山中スタンダード）を確立することで、どの先生が授業を行っても同じように行えるようにすることが大切であると考える。

以上のことより、学校全体で共通した課題の改善や授業展開の仕方の確立という理由から本研究主題を設定した。

３　研究内容

（１）館山中スタンダードの構築

① 全教科統一の取り組み

ア　基礎基本の定着を目指す。

・授業冒頭で前時の復習を行う。
・授業の目標を青で囲む。
・自分の言葉で学習のまとめを書く。

イ　単元を通して、「書くこと」に重きを置いた時間を設ける。

ウ　授業規律を見直す。

・館山中の「授業を受ける姿勢」を実践する。

② 教科ごとの取り組み

ア　教科部会を定期的に行う。

イ　授業力向上推進コーディネータとの連携をする。

ウ　昨年度１月に各教科で考えた改善策の実践の継続をする。

（２）特別研修

保健関係の研修、教育相談の研修、若年層職員を対象とした研修等、生徒や職員の状況に応じて研修を行う。

（３）その他

以下の研修を計画する。

・不祥事根絶について　　・危機管理について

４　研修計画　　※適宜計画を見直します。

月	日	主題に関する研修	その他
4	22 （月）	○研究計画提案	○指導案の書き方（松坂教頭）
5	27 （月）	○教科部会	※指導案完成（７日） ○若手研修（学級経営　中川先生）
6	24 （月）	○教科部会 ○グループ別検討会	※Q-U 実施（３日） ○若手研修（生徒指導　吉田生徒指導主事）
7			※Q-U 分析（学年ごと）
8	21 （水）	○通常級における特別な支援について（仮）（指導主事） ○グループ別検討会※２学期実践	
9	30 （月）	○教科部会	○若手研修（合唱指導　伊丹先生）
10	28 （月）	○研究の振り返り（途中経過）	
11	18 （月）	○全国学力・学習状況調査の分析	
12	9 （月）	○教科部会	※Q-U の分析（学年ごと）
1	27 （月）	○研究の振り返り（成果と課題）	○保健関係の研修（学校医）
2	25 （火）	○今年度の反省と次年度の計画 ○実力テストの全国平均との比較	